

論文番号 231

担当

札幌医科大学 医学部 薬理学講座

題名 (原題/訳)

New therapies for alcohol problems: application to primary care.

アルコール問題への新たな治療法: プライマリケアへの適用

執筆者

Fiellin DA, Reid MC, O'Connor PG

掲載誌 (番号又は発行年月日)

American Journal of Medicine 108(3): 227-237 (2000)

キーワード

アルコール依存症、プライマリケア、治療法、総説

要旨

プライマリケアを担当する医師はしばしばアルコール問題をかかえた患者の長期間の治療に関わり、それらの患者のアルコール摂取を減少させる方策を講じる必要がある。最近の臨床的試みはそれらの患者に対する新たな治療法の有効性を支持している。患者との短いインタビューが問題飲酒を行っている患者のアルコール摂取量を減少することに効果的に用いられている。

"12-step facilitation, cognitive behavioral, and motivational enhancement (12段階促進-認識行動-動機付け亢進)" 療法はアルコール依存症患者での飲酒を効果的に減少してきた。ナルトレキソンや acamprosate のような薬理的治療は、アルコール依存症患者の社会心理カウンセリングと共に行えば効果的にアルコール摂取量を減少することができる。この総説はアルコール問題を抱えた患者のプライマリケアにおけるアルコール依存症の最近の治療法の適用について概説したものである。